

## グリーンボンド発行に関するお知らせ

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:谷原徹、以下 SCSK)は、2021年2月17日に公表・策定<sup>※1</sup>したグリーンファイナンス・フレームワーク<sup>※2</sup>を踏まえ、国内公募形式による当社初のグリーンボンド(以下「本グリーンボンド」)の発行を予定しておりますので、お知らせいたします。

※1 グリーンボンド発行に向けたグリーンファイナンス・フレームワーク策定について PDF 資料 :

<https://www.scsk.jp/news/2021/pdf/20210217.pdf>

※2 グリーンファイナンス・フレームワーク PDF 資料 : <https://www.scsk.jp/news/2021/pdf/20210217-3.pdf>

### 1. グリーンボンド発行の目的及び背景

SCSKグループは事業を通じた社会課題解決により、社会と共に持続的な成長を図る「サステナビリティ経営」<sup>※3</sup>を推進しています。社会が抱えるさまざまな課題の中で、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しております。今回のグリーンボンドの資金使途としている省エネ化による環境配慮型のデータセンター建設は、「地球環境への貢献」に資する取り組みです。

今後もSCSKグループは、総合力を最大限に発揮したサステナビリティ経営を推進することで、各ステークホルダーと共に、持続的な成長を目指していきます。

※3 サステナビリティについて : <https://www.scsk.jp/corp/csr/index.html>

### 2. 本グリーンボンドの概要

発行年限	5年
発行時期	2021年6月
発行額	50億円
資金使途	netXDC 千葉第3センター(SI3)の建設、改修、取得及び運営にかかるファイナンス及びリファイナンスに充当予定
グリーンボンド適合性評価	国際資本市場協会(ICMA)による「グリーンボンド原則2018」及び、環境省「グリーンボンドガイドライン2020年版」に適合している旨、第三者評価機関である Sustainalytics(サステナリティクス)からセカンドパーティー・オピニオン <sup>※4</sup> を取得しております。
主幹事	大和証券株式会社、野村證券株式会社、SMBC日興証券株式会社
Green Bond Structuring Agent <sup>※5</sup>	大和証券株式会社

※4 Sustainalytics 社によるセカンドパーティー・オピニオン

日本語版 PDF : <https://www.scsk.jp/news/2021/pdf/20210217-2.pdf>

英語版 PDF : <https://www.scsk.jp/news/2021/pdf/20210217-2e.pdf>

※5 グリーンボンドフレームワークの策定及びセカンドパーティー・オピニオン取得に関する助言を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者

### 3. データセンター概要

名称	「netXDC 千葉第 3 センター(SI3)」
所在地	千葉県印西市
敷地面積	約 32,201 m <sup>2</sup>
延床面積	約 13,000 m <sup>2</sup>
竣工予定時期	2022 年 3 月
建物	地下無し、地上 7 階、塔屋 2 階 鉄骨造、基礎免震+垂直制振
電源設備	本線予備線 2 系統受電 発電機: N+1 の冗長構成にて無給油連続 72 時間稼働 UPS: 部屋単位で冗長構成の変更可能なフレキシブル設計
冷却設備	N+1 冗長構成(オプションにより N+2 構成まで拡張可能)
ラック数	1600 ラック
総電気容量	20MW



#### <netXDC 千葉第 3 センター(SI3)の特徴>

##### 1) 立地(印西市)について

千葉県印西市は、データセンターの銀座「INZAI」としてブランド化がすすみ、海外からも注目を浴びるエリアとなっています。注目されている理由として、地震・水害などのハザードリスクが低いこと、東京から電車で約 1 時間・成田国際空港から電車で約 30 分という利便性や、千葉県南房総エリアおよび茨城県北エリアの海底ケーブル陸揚局との距離が短く、通信品質や費用面にメリットがあることが挙げられます。

## 2) 高いネットワークコネクティビティ

SCSKは、netXDC 印西キャンパスのネットワークコネクティビティ向上のため、さまざまな事業者と協業しています。2019年にはIX事業者であるBBIX株式会社が、IX(インターネットエクスチェンジ)サービスの提供を開始し、2020年より複数のクラウドサービスに接続可能なマルチクラウドサービスの提供を開始しました。2020年にはアルテリア・ネットワークス株式会社が、陸揚局や都内データセンターなどと最大100Gbpsで接続できる専用線接続設備を増強しています。SI3のサービス提供開始までに、さらなるネットワークサービスの拡充を図っていきます。

## 3) 環境への配慮

環境負荷低減を目的とした高効率機器を採用、また運営の効率化によりPUE<sup>※6</sup>の最小化を図ります。SBT<sup>※7</sup>認定を視野に自然エネルギーを活用し、SCSKグループの活動の一つとして、エネルギー効率化を推進、SDGsの17目標のうち「7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と「13:気候変動に具体的な対策を」に寄与した環境配慮をいたします。

※6 Power Usage Effectiveness の略。データセンターなどIT関連施設におけるエネルギー効率を測定する指標の一つ

※7 世界の平均気温の上昇を抑えるために、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ

## 本件に関するお問い合わせ先

### 【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社  
広報部 牧野  
TEL:03-5166-1150

### 【報道関係以外に関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社  
財務部 田中  
TEL:03-5166-2500

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。